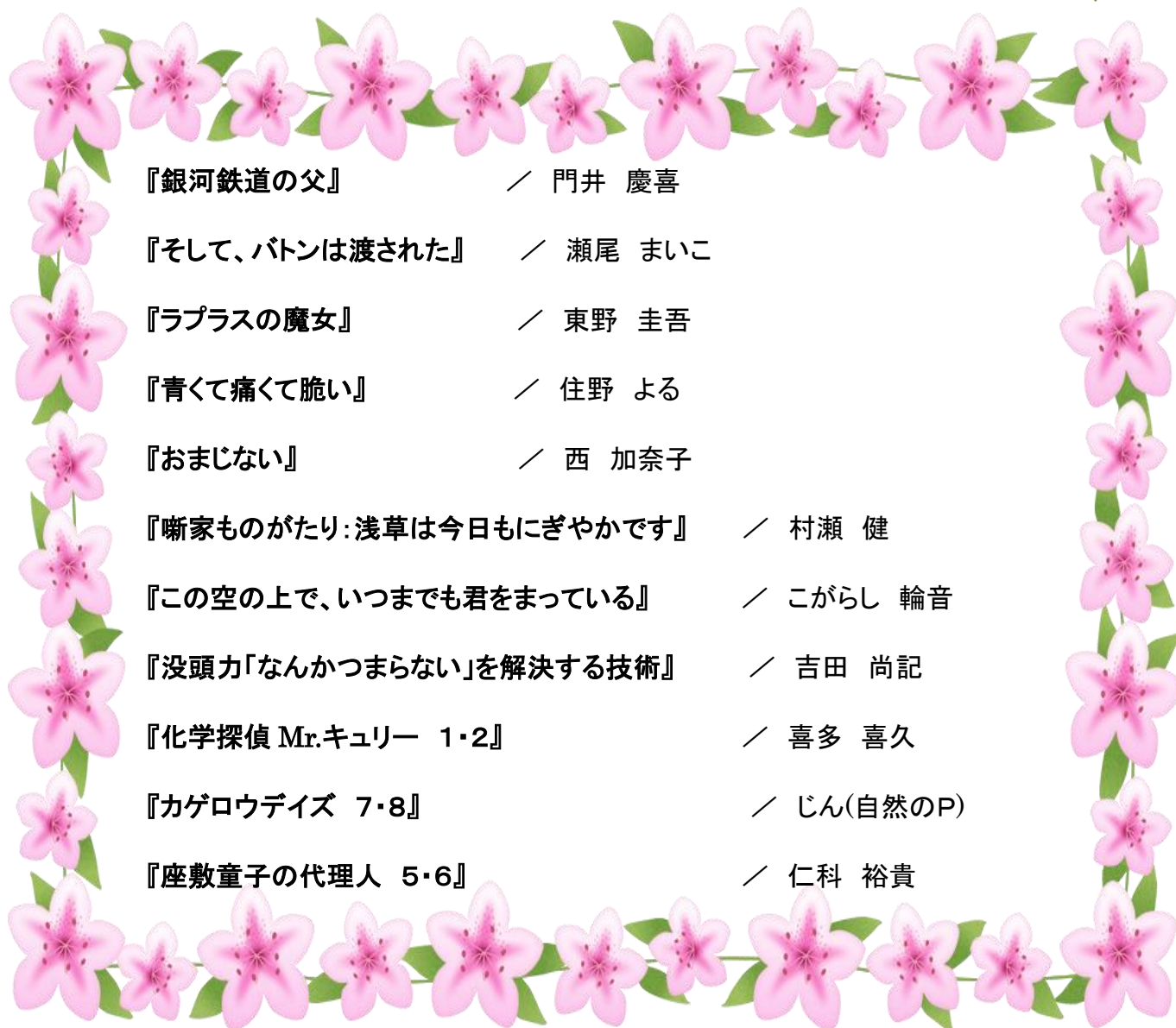


5月になりました。風が心地よく過ごしやすい季節です。お気に入りの本を見つけてのんびり読書はいかがですか？



今月の新刊



- | | |
|------------------------|------------|
| 『銀河鉄道の父』 | ／ 門井 慶喜 |
| 『そして、バトンは渡された』 | ／ 瀬尾 まいこ |
| 『ラプラスの魔女』 | ／ 東野 圭吾 |
| 『青くて痛くて脆い』 | ／ 住野 よる |
| 『おまじない』 | ／ 西 加奈子 |
| 『嘶家ものがたり:浅草は今日もにぎやかです』 | ／ 村瀬 健 |
| 『この空の上で、いつまでも君をまっている』 | ／ こがらし 輪音 |
| 『没頭力「なんかつまらない」を解決する技術』 | ／ 吉田 尚記 |
| 『化学探偵 Mr.キュリー 1・2』 | ／ 喜多 喜久 |
| 『カゲロウデイズ 7・8』 | ／ じん(自然のP) |
| 『座敷童子の代理人 5・6』 | ／ 仁科 裕貴 |

『そして、バトンは渡された』は、ライブラリーニュース4月号で頼本先生が紹介して下さった本です。
『銀河鉄道の父』は直木賞受賞作。『ラプラスの魔女』は櫻井翔さん、広瀬すずさん主演で今映画が公開されていますね。『青くて痛くて脆い』は住野よるさんの待望の新作です。図書室新刊コーナーにあります。気になった人は図書室へ！



図書委員おすすめの作家 西尾維新



図書室にある西尾維新さんの本について紹介します。

まず最初に『化物語』から始まる「物語シリーズ」。アニメ化や映画化されており、西尾さんの代名詞とも言える作品です。「100パーセント趣味で書かれています」と表紙にあるとおり、西尾さんの独特の感性で書かれたおもしろいシリーズです。シリーズになっていますが、物語の時系列がバラバラなので、借りるときにはご注意ください！

次に紹介するのは「戯言シリーズ」。西尾さんのデビュー作で、後に「人間シリーズ」「最強シリーズ」と続きます。図書室には現在4冊あります。このシリーズは前半が一風変わった推理ものなのに、後半はバトルものになってしまうという妙な展開の話になっています。

最後に「掟上今日子シリーズ」をおすすめします。数年前にドラマ化されたので、知っている人も多いのではないのでしょうか。図書室にはシリーズのうち8冊があります。内容は他の西尾作品と比べると読みやすいものになっています。ぜひ読んでみてください。西尾作品は、図書室入ってすぐ、新刊コーナーの隣にあります！



(図書委員：3年：H)



5月 読書コラム



新緑が美しい季節になりましたね。皆さんいかがお過ごしですか？

新しい年度が1か月たち、普段の生活に慣れた人も慣れない人もいると思います。今回紹介する本は『今日のハチミツ、あしたの私』（寺地はるな/角川春樹事務所）です。「もし明日人生が終わるとしたら、きっとわたしは、喜ぶ。」なんて言葉でこの物語は始まります。主人公の碧は中学生の頃学校に馴染めず、家族との距離感にもズレを感じ、自分を大事に思えませんでした。そんなときに、子連れ綺麗な女性から小さなハチミツの入ったビンと「蜂蜜をもうひと匙足せば、たぶんあなたの明日は今日より良くなるから」という言葉をもらいます。その言葉に救われた碧は、自分を大事にすることや、どんなに辛い時でもご飯を食べて体に栄養を与えることの尊さを持った大人になります。結婚を考えていた恋人との距離に苦しんだり、何も知らない土地へうつたり、様々な困難や苦しみが彼女を襲っても、碧は目の前の状況を受け止め、行動していきます。そんな碧の姿勢に私もじわりと心にくるものがありました。またタイトルにもあるハチミツは、この物語にとって大きな存在です。碧の活力の源であり、元気のない人へあげるお菓子や飲み物には必ずと言っていいほどハチミツを使った食べ物が物語に登場します。物語だけでなく、ハチミツの活用方法まで楽しめます。ハチミツはおやつであり、調味料であり、その人の体を整えるもの。新しい生活に慣れない人、少し体調が優れないなどと思っている人、ハチミツをひと匙舐めてみてください。きっとあなたの体を内側から元気にしてくれます。(頼本)

